

用語等の解説

電気伝導率

電気の流れやすさを示すもので、水分中に塩分等の不純物が多いと電気が流れやすくなり、数値が高くなる。

原子力発電所においては、水質を管理し、海水の漏えい等を早期に感知するため、電気伝導率を監視している。

復水器

タービンを回した後の蒸気を冷やして水に戻すことにより真空状態をつくり、タービン効率を高めると同時に、この水（復水）を回収して再び蒸気発生器へと循環させるための設備。

復水ポンプ

復水器の下部に溜まった復水を、系統へ送水するためのポンプ。

復水脱塩装置

復水器で凝縮した水（復水）を、再び蒸気発生器へ送水する際に、復水に含まれる不純物を樹脂によって除去する機器。

レベル1

当社が今回の川内原子力発電所の再稼働工程を進めるにあたって、想定される事象と対応について、プラントへの影響の程度によって、レベル0からレベル4にケース分けをしていたもののひとつ。

レベル0：通常操作等の際に、発生が予期しえる警報
（運転操作等により発生）

レベル1：警報発信等の事象が発生した機器を監視強化
（パラメータの揺らぎ等により発生）

レベル2：再稼働工程を継続しながら、必要な対応を実施
（機器の不調等により発生）

レベル3：発電を停止（または負荷降下）し、必要な対応を実施【2次系】

レベル4：原子炉を停止し、必要な対応を実施【1次系】

以上